東北版

東北支社
仙台市青葉区本町三丁目5番3号（佐新ビル3階）
☎022（224）0123㈹
FAX 022（267）6827

建設技研・URリンケージ提案体を特定

復興事業CMプロポ　釜石市

岩手県釜石市は、復興事業CM（コンストラクション・マネジメント）業務委託に伴い、公募型プロポーザルを実施した結果、釜石市復興事業CM業務建設技術研究所・URリンケージ共同提案体を最優秀者に特定した。

同提案体のみが参加表明し、2月27日の審査会により決定した。

市と一体となって復興事業の円滑な推進のため、用地買収補助者募集、設計施工者募集、復興交付金事業計画管理、捕捉土砂採取地調査設計、工事用道路利用円滑化検討などを行う。

業務対象地域は、同市箱崎、箱崎白浜、仮宿、西石水海、東部、嬉石松原、平田、尾崎白浜、佐須、本郷、唐丹、荒川、大石の14地区。

履行期限は13年3月29日までとするが、6月28日までの延長を認める。

簡易公募型6件

東北整備局青森河川ほか

東北地方整備局青森河川国道事務所などは1日、簡易公募型6件を公示する（5面参照）。業務内容は次のとおり。

◎簡易公募型プロポーザル▽青森河川・岩木川河道計画検討▽同・岩木川緊急減災同

◎簡易公募型競争入札▽青森河川・岩木川水辺環境調査（現地調査（鳥類等）▽玉川ダム・採水及び流量観測▽鳥海ダム・治水利用計画資料作成

◎同（総合評価落札方式▽月山ダム・周辺自然環境調査。

企業の港湾BCPを評価

認定制度を創設　総合評価で加点

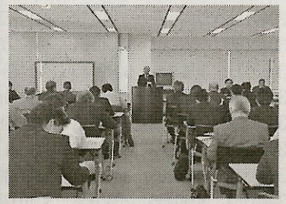
東北整備局

東北地方整備局港湾空港部は、災害時における港湾の防災対応力の向上を図る目的で「災害時建設業事業継続力認定制度」を創設し、建設業の港湾BCP（業務継続計画）を評価・認定する。

認定された企業は、入札時の総合評価の「地域精通度・貢献度」で加点。年2回の申請・認定を行い、認定期間は2年間とし、初年度の今回は、3月末まで申込みを受け付け、4月下旬に第1回認定証を通知する。以降は9月と3月の半期毎に認定する。

対象は、港湾空港関係に特化し、「港湾土木」「港湾等しゅんせつ」「港湾等構造物」「空港等土木」「空港等舗装」の5工種。審査は、認定を受ける建設業が災害時の基礎的な事業継続力を備えるうえで重要と考えている内容が企業BCPに記載されているか」で評価。港湾空港部長を委員長とする認定委員会を設置し、審査する。

2月27日には認定制度の説明会が行われ、77社から106人が参加。東北整備局では「東日本大震災の教訓を踏まえ、新たに発生する応急復旧業務への対応は建設業者の協力なしにはでき得ない。この制度を通じ、港湾の災害対応力の強化とともに、地域防災力の向上につなげていきたい」と話す。



震災がれき有効活用で産学官連携

第3回全体会議・技術講習会

開発技術を重点的に紹介

震災がれきと産業副産物のアロケーション最適化コンソーシアム（代表・久田真東北大学大学院教授）は2月27日、仙台市の仙台市戦災復興記念館で第3回全体会議と技術講習会を開き、新たに開発され、役立つ可能性のある技術を重点的に紹介し、有効活用のあり方を探った。

はじめに久田代表は「震災から2年が経過しアロケーション最適化のねらいが成果をあげつつあるなか、ストックヤードの確保などの新たな課題が浮き彫りになっている。行政関係者との連携と意見交換を進め、解決の方向性を見出したい」と課題を指摘した。

あいさつする久田代表

活動報告では、コンクリートがれき有効利用検討部会で大林組、がれき焼却残渣有効利用検討部会で鹿島建設、津波堆積土砂有効利用検討部会で住友大阪セメント、プレキャストコンクリート製品検討部会で昭和コンクリート工業、長期安定性評価検討部会でJFEスチールがそれぞれ1年間にわたる成果を発表。続いて、環境省から東日本大震災からの復旧復興のための公共工事における災害廃棄物由来の再生資材の活用について、地盤工学会から「災害廃棄物焼却主灰を原料とする再生資材の地盤材料利用を対象とした物性評価スキーム」についてそれぞれ解説した。

意見交換では、宮城県環境生活部の佐々木源次長が「震災がれきの再生活用は石巻ブロックをはじめとして先行して実施しており、今後はストックヤードの確保が重要となる」と指摘。県として市町と連携し、協力体制をとることを明らかにした。

橋本店人事

（3月1日）▽建築部部長代理（建築部次長）佐藤克也▽土木部部長代理（土木部次長）菅前隆弘▽土木部次長（工務担当）（同部工務課長）丹野孝志▽同（工事担当）（同部工事課長）及川聡▽建築部次長（工事担当）（建築部工事課長）太田吉彦▽同（工務担当）（同部工務課長）稲村力▽同（設計担当）（同部設計課長）酒井篤史▽技術・管理部次長（土木・建築部技術・購買課長）相原真士。

創業140周年記念展

名古屋でも開催

大成建設、未来へのバトン

大成建設の創業140周年記念展

大成建設（山内隆司社長）は、2月26日から28日の三日間、名古屋市西区の名古屋ルーセントタワー・ビジネスサポートセンターで「創業140周年記念展―未来へのバトン」を開催した。

同社は、大倉喜八郎が1873年（明治6年）に同社の前身となる「大倉組商会」を創業、今年、創業140周年を迎えた。

同展では、日本近代化の黎明期から現在に至る同社の歩みと、未来に向けての取り組みを、パネル、模型、映像で展示。創業者の大倉喜八郎については、取り組んだ事業だけでなく、幅広い交友関係を紹介。現在進行中である「ボスポラス海峡横断トンネル工事」では、大型の地形模型と映像などで臨場感豊かに展示している。

一方、講演会場では、「大倉喜八郎にみる類い稀なベンチャー精神」をテーマに村上勝彦東京経済大学教授が記念講演を行い、「ゼロ・エネルギー・ビルの実現」「超高層ビルを解体せよ！」の2件のセミナー講演会が同社社員によって行われた。

また、名古屋支店での開催で「中部の未来を拓く」をテーマに、中部地区での施工物件などの展示も行われた。

同展は、すでに東京、関西、九州、中国の会場で開催、名古屋は5番目の展示となる。

中部版

中部支局
桑名市東方2042
☎0594（25）3541
FAX 0594（25）3542

29日まで申請書

WTO一般　常磐道山元舗装

NEXCO東日本東北支社は、WTO対象の一般競争入札により「常磐自動車道山元舗装工事」を公告した。29日まで申請書を受け付け、6月11日に開札を行う。参加資格は、舗装・13000点以上で02年度以降に、舗装面積6万平方㍍以上の新設道路の高機能舗装の施工実績を求める。

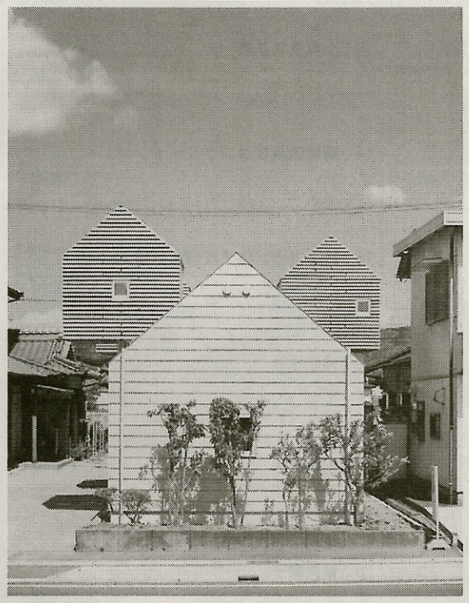
工事内容は、常磐自動車道福島・宮城県境～山元IC間、亘理PA（仮）の本線延長約11㌔のアスファルト舗装17万4000平方㍍、防護柵工約2万4000㍍、切盛土工2万立方㍍を整備する。

工事場所は宮城県亘理郡山元町坂元～前同郡亘里町吉田、前同町逢隈高屋。工期は600日間。

NEXCO東北

中部建築賞

<20>



ソラニワ

［住宅部門・入選］

▽ソラニワ（岐阜県可児市）木造、地上1階、延べ86・38平方㍍。設計者＝アトリエ ルクス一級建築士事務所、施工者＝株式会社井上工務店。

［選評］ソラニワ・・・・。なんとも魅力的なタイトルなのだろうか。この住宅は岐阜県の御嶽町、盆地に形成された街なかの一角にある。写真からは一見、自己主張の強い建物に思えるが、現場に行くと、探さなければならないほど周りの景観に溶け込んでいる。色彩も落ち着いている。

そもそもソラニワの誕生には必然性がある。敷地の北側には施主の両親の住む母屋と倉庫がすでにあるため、できるだけ敷地南側に建てることによって、母屋の採光と通風を確保する必要があるが、南隣地にはギリギリまで住宅が建設されているため、自身の採光等を確保するには敷地北側に寄せるほどいいことになる。

敷地の広さに限りがあるので、その最適解としてソラニワが生まれた。すなわち、天窓からの採光である。しかし直接採光では光が強すぎ、天井高を高くすることで隣地からのプライバシーを守ることができるが、母屋の採光と通風が阻害されるので、その解決策が平屋住宅と小屋空間（ソラニワ）の組み合わせである。ソラニワがあるので、乱反射させて柔らかな光を室内に取り込むことが可能となった。また、ソラニワがあるので、隣地からのプライバシーを守りながら採光ができるようになった。

平屋部分はLDK、玄関、子どもスペース、寝室に分節化されており、それらは直線廊下によって結ばれる。LDKと子どもスペースには北側と南側にソラニワが、寝室には北側に据え付けられている。平面は単純明快であるが、立面はソラニワがあるため変化に富んでいる。

この住宅の施主（住まい手）には5歳を筆頭に3人の子どもに恵まれている。子ども達にとってソラニワは恰好の隠れ家であり、遊び場である。上を見れば青空や星空が見え、下を見れば親たちの会話が聞こえるソラニワは子ども達の創造力を育んでいくであろう。果たして、子どもの成長、家族の成長とともにソラニワの使い方がどのように変化していくのであろうか、楽しみである。

（井澤　知旦）

年度末路上工事を抑制

中部地方整備局名古屋国道事務所は、工事による渋滞の低減を目的に、年度末3月の路上工事を抑制する。

関西版

5グループ入札参加

町営緑ヶ丘住宅

大阪府・岬町は、施設の老朽化が著しいことから、PFI手法で建替を計画している「町営緑ヶ丘住宅」について、総合評価一般競争入札により5グループからの入札参加を受け付けた。今後は3月下旬にプレゼンテーション等を実施、4月上旬に落札者を決定する。

入札参加グループは▽タクマ▽巴コーポレーション▽日本建設▽一建設▽大阪府建設業協同組合▽NTT西日本関西支社▽大阪府建設業協同組合▽NTT西日本関西支社▽大阪府建設業協同組合▽NTT西日本関西支社